心身医学専門医コース

1. コースディレクター、副コースディレクター紹介

コースディレクター：丹羽真一

1972年　東京大学医学部卒業
1972年　東京大学医学部附属病院医員（研修医）
1973年　東京大学医学部附属病院医員
1976年　東京大学医学部附属病院精神神経科助手
1992年　福島県立医科大学医学部神経精神医学講座教授

＜学会認定医・専門医等＞
精神保健指定医（6683 号）、日本臨床神経生理学会認定医、日本老年精神医学会専門医（1327 号）

副コースディレクター：増子博文

1980 年　弘前大学医学部卒業
1980 年　福島県立医科大学医学部神経精神医学講座副手
1991 年　福島県立医科大学医学部神経精神医学講座助手
2001 年　福島県立医科大学医学部神経精神医学講座講師

＜学会認定医・専門医＞
心身医学科認定医（日本心身医学会）、日本心身医学会認定指導医、日本総合病院精神医学会専門医、精神保健指定医（6005 号）

2. プログラムの目的と特徴

卒後臨床研修 2 年間を終了した医師に対して、3 年間以上の心身医学研修を行い日本心身医学会の心身医学科認定医の資格を取得するのに必要な専門医研修を行うことを目的とするプログラムである。心身医学科認定医制度は、心身医学科医としての広い知識と練磨された知識と技能をそなえた優れた臨床医を社会に送り、社会一般の人々がより高く、より正しい心身医学の恩恵を受けられるよう社会に貢献し、併せて心身医学の普及向上を図るために設けられている制度である。

心身医学専門医コースを終了して、さらに 1 年間以上うぃ精神科専門医制度による指定を受けた福島医大病院以外の研修病院であり措置入院を受け入れている病院で精神科研修をすることにより、精神科専門医取得のための研修到達目標を達成することも可能となる。

心身医学専門医コースに在籍するときには、後期研修医（専門医養成コース）となって

いただく予定である。後期研修医は身分の保証された制度である。

3. 取得できる専門医名

心身医学科認定医（日本心身医学会認定医）

4. 専門医取得の要件

(1) 医師免許証を持ち、初期臨床研修を終了し、日本心身医学会で認定された研修診療施設で一定期間心身医学を研修し、所定の手続きを経て、学会が定める試験に合格し、認定医制度委員会の審査を経て理事会で認定された者。
(2) 研修診療施設において、常勤医の場合は 3 年、非常勤医の場合は 5 年の研修年限を終了していること。
(3) 医師歴 5 年以上、日本心身医学会会員歴 3 年以上であること。
(4) 心身医学に関する学会発表 3 回以上。
(5) 心身医学に関する学術論文 3 編以上。
(6) 学会（支部を含む）で主催した心身医学講習を受講すること。
(7) 原則として、学会で定めたガイドラインにそって研修すること。

5. プログラムの概要

(1) 心身医学専門医コースに入った研修医は、原則として 3 年間福島医大病院・心身医療科にて心身医学研修を受けていただく。その間は原則として後期研修医となる予定である。
(2) 3 年間の研修に中で次の項目について研修する。(研修ガイドライン)

A　基礎理論

1) 総論

（イ） 心身医学科認定医としての心構え、治療的自我の養成
（ロ） 患者についての理解　　患者心理、心身の発達、医師・患者関係など
（ハ） 心身医学、心身症の概念および定義

2) 心身医学の歴史

（イ） 諸外国における心身医学の流れ
（ロ） 日本における心身医学の流れ
（ハ） 東洋的アプローチ

3) 心身相関の病態

（イ） 情動の身体反応

（ロ） 医療心理学の基本

4） 行動科学

（イ） 任苑の性格、行動と疾患

（ロ） 社会、文化的人間論（環境ストレス疾患）

（ハ） 動物モデル

5） 行動薬理学の基礎

B 臨床応用

1） 心身医学的診断（心身症の診断）

（イ） 病歴の取り方

（ロ） 診断

（ハ） 鑑別診断

2） 心身医学的治療（心身症の治療）

（イ） 心身医学科認定医としての心構え、治療的自我の養成

（ロ） 患者についての理解

（ハ） 治療のゴール

（ニ） 薬物療法

（ホ） 簡易精神療法

（ヘ） カウンセリング

（ト） 環境調整

（チ） 自律訓練法

（リ） 筋弛緩法

（ヌ） 暗示療法

（ル） 交流分析法

（ヲ） 精神分析的療法

（ワ） 精神分析療法

（カ） 家族療法

（ヨ） 行動療法

（タ） バイオフィードバック療法

（レ） 絶食療法

（ソ） ヨーガ療法

（ツ） 生体エネルギー療法

（ネ） 禅的療法

（ナ） 森田療法

（ラ） 内観療法

（ム） ゲシュタルト療法

（ウ） バリント療法

（ヰ） 集団療法
（ノ） 温泉療法
（オ） 箱庭療法
（ク） 芸術療法
（ヤ） 遊戯療法
（マ） 読書療法
（ケ） ライフスタイルの修正
（フ） 他の専門職（co-medical staff）との協力
チーム医療の実践

3） 臨床各領域における心身医学（心身症の治療）
a)プライマリケア医と心身医学
b)内科領域
c)精神科領域
d)小児科領域
e)外科、整形外科領域
f)産婦人科領域
g)皮膚科領域
h)泌尿器科領域
i) 眼科領域
j) 耳鼻科領域
k)リハビリテーション領域
m)死の臨床
n)その他

4） 心身医学的治療と保険請求

6. 研修施設

福島医大病院・心身医療科（日本心身医学会の認定を受けた研修診療施設）

7. 専門医取得実績

心身医学科認定　26 名

8. 評価方法

医師歴 5 年以上、日本心身医学会会員歴 3 年以上で、学会認定研修診療施設で 3 年

以上（非常勤の場合 5 年以上）の研修歴を有し、所定の研修終了の条件を満たしたものは、次の条件を整えることで心身医学科認定医試験受験申請を行うことができる。

(1)　心身医学会講習会受講証明書
(2)　研修証明書
(3)　研修指導医の推薦状
(4)　症例サマリー5 例と症例一覧 30 例
(5)　履歴書

試験は筆記試験と口頭試問で、毎年 1 回 6～8 月ころに行われる。